

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立古館小学校（岩手県）【協力校】

## 【取組内容】 情報活用能力の育成

## 【タブレットPCの活用】 5年 総合的な学習の時間

## 【題材】

地域の方に指導してもらいながら、5月の田植えや9月の稲刈りを体験した。自分たちで刈り取った米を販売するため、米袋に貼るシールが必要となった。シールに記載する情報で必要なものやそうでないものなど、考えを出し合い、整理して絞り込む学習。

販売する米の名前や産地、重さなど載せたい情報を出し合い、条件に合わせながら整理した。  
個人→グループ→全体

思考ツールとして

- ・イメージマップ → 知識の視覚化
- ・ピラミッドチャート → 収集した情報の整理
- ・ベン図  
→ 比較（収集した情報の比較・共通点を明確にする）
- ・PMI → 振り返り

それぞれのツールのよさを説明し、活用する際の注意点を指導・支援する。

ピラミッドチャートで整理したものから、どの名前にするか話し合った。

オリジナルの米の名前、重さ、産地、電話番号など自由に出し合い、その中から本当に必要な情報だけに絞り込んだ。

- イメージマップで最終的に作りたいシールのイメージを全体で共有。
- 個人（グループ）での探究活動ピラミッドチャートを活用して整理した。
- グループで話し合い  
学習支援ソフト（共有ノート）を活用し、まとめた。  
→手書きからデータ化

※手書きのよさも生かしながら、タブレットに取り込み、修正

